

# 上志津原たより

2023年08月01日発行  
編集発行：上志津原町会広報係  
発行責任者：町会長 萩庭 一彦



- 班長会 (7月1日)
- 子ども御輿の制作、巡行
- 4年ぶり はら公園に やぐら建つ
- 上志津原町会 盆踊り大会 (7月28日・29日)

## ■ 班長会 (7月1日)

### 1. 町会長挨拶 (萩庭町会長)

7月を迎えて本格的に盆踊り大会の準備が進んでいます。ケーブルネット296の取材でカメラが入る予定です。4年ぶりの開催で行き届かない点があるかと思いますが、無事に終わられるようご協力をお願いします。

### 2. 子ども会からのお知らせ (和泉会長)

7月16日(日) 廃品回収を予定しています。子ども会の活動費となりますのでご協力をお願い致します。アルミ缶回収 BOX もご利用ください。盆踊り大会の出店を予定しています。子ども達が作成したポスターの掲示と回収もお願い致します。また、バス遠足は10月23日を予定しています。

### 3. まちづくり委員会からのお知らせ (上村会長 代理萩庭)

悩み事相談会は7月15日を予定しています。公園清掃は引き続きメンバーを募集しています。親子ふれあいキャンプは8月26日・27日を予定しています。泊り・帰宅は自由選択にしたいと思っております。双葉会から、町会の助成金でグランドゴルフとポッチャの用具を購入し、楽しく使わせて頂いているとお話を聞いております。

### 4. 防災防犯委員会 (下山会長)

毎週土曜日 18時からパトロールを行っています。班長さんの当番表を配布していますのでご協力お願い致します。6月18日、安否確認訓練、防災訓練、ご協力ありがとうございました。

### 5. 会館・ふれあい通りの清掃当番など

会館トイレ清掃、ふれあい通り清掃は当番表のとおり対応をお願いします。南ヶ丘集会所は利用者があり実施できず。秋の清掃で対応します。

### 6. 盆踊り大会について

やぐら設営を7月23日(日)、盆踊り大会は7月28日(金)・29日(土)に開催、やぐら解体を7月30日(日)に行う予定です。回覧、各戸配布資料、多数ありますがご協力をお願い致します。

### 7. 運動会について

10月8日(日) 予定で計画を進めます。ご協力をお願い致します。

## 子ども御輿の制作、巡行

やぐら設営が行われた7月23日の午後、子ども達による「子ども神輿」の制作が行われました。お御輿のベースは段ボールで作られています。用意されたベースは3基。子ども達には思いおもいに飾り付けを行って貰いました。



子ども御輿の巡行は7月29日(土)、盆踊り大会2日目に行われます。元気のある子ども達なので巡行から戻ってくる頃にはお御輿がボロボロになってしまいます。これもお楽しみの一つです。



近隣の町会や神社では立派なお御輿があり、子ども達も揃いの絆纏をまとい、厳かで、雅やかな巡行が行われています。羨ましいなと思い、なんとか入手できないものか(又は作れないか)と考えたことも多々ありました。

手作りでも派手なお御輿、壊れてもお構いなし、とにかく元気に巡行する「はらの子ども御輿」、これはもはや伝統かなと思うようになりました。町会の資料では2009年には既にこのスタイルでお御輿巡行が行われています。今年で15年目、初期に参加して頂いた子ども達はもう成人を迎えていると思います。今年も元気に巡行する子ども達を見て、懐かしんで頂けたら嬉しく思います。

## 4年ぶり はら公園に やぐら建つ

7月23日(日)、やぐら設営当日は快晴(酷暑)のもと行われ、怪我無く無事に組みあがりました。国内最大級と思われるその大きさは組み上げるのも一苦勞です。当日は朝早くから班長さん・次期班長さん、町会有志の皆さんに集まって頂きました。やぐら設営はまちづくり委員会の経験者が中心となり準備と当日の作業管理を行って頂いています。作業前のミーティングでは、熱中症に注意、休憩の指示には必ず従って下さいと注意喚起が強調されました。お馴染みのラジオ体操で身体をほぐしてから作業が開始されました。

### (1) やぐらの立ち位置の確認

前日までに確認済みで、立ち位置にマーキングがされ準備OK。

### (2) 倉庫から部材を搬出

やぐらは鉄骨製のため重量があります。倉庫からの搬出作業では、無理せず複数人で対応するように指示があり、最重量の柱は4~5人で運び出していました。運び出した部材は適当に置かれるわけではなく、種類ごとに整列されていました。なるほど、経験が活かされていると思いました。ここで小休憩。とにかく日差しが強く、水分補給と木陰で休息するよう指示がありました。



### (3) やぐらの柱の組み上げ

中心となる4本の柱を横に倒した状態で連結してから吊り上げて縦に起こします。やぐら設営一番の見どころです。やぐらの柱が建つとその大きさが際立って感じられます。ここまでで一段落。長めの小休憩です。



### (4) 舞台の組み立て

組み上げた柱を中心にして舞台を組み立てます。部材の数が多く手間のかかる部分ですが、皆で協力してスムーズに進められました。部材それぞれの連結する部分に番号が振られていて、番号を合わせながら組み立てます。番号を間違わず組み立てると全部材がピッタリと気持ち良く合いました。小休憩。



### (5) 床を張る

舞台部分の垂木を渡し、コンパネで床を張ります。コンパネにも番号が振られており、図面に合わせて並べていくとこれもピッタリと合いました。小休憩。

### (6) 紅白テープ

やぐらの部材に紅白テープを巻きつけます。

### (7) 片付け

使わなかったものは倉庫へ収納。

やぐら設営の側ら、芳名板と入場門の設置が行われました。芳名板には「ふれあい通り作品展」で子ども達が作成した「落書きボード」が再利用されました。この発想は無かったです。良い気付きです。早速、落書きボードに集まってミニ鑑賞会が始まっていました。

写真がありませんが、紅白の飾り花の作成(双葉会の皆さん)、提灯の整理にもご協力頂きました。4年ぶりで段取りに不安があったものの、経験者を中心に作業が完了しました。確認しながらの作業であったため以前より時間がかかりましたが、立派なやぐらが建ちました。ありがとうございました。



